

センターだより

第60号

荒砥

発行日：令和2年3月16日

発行所：荒砥地区コミュニティセンター

Tel 85-0260

Fax 85-0263

思いやる心が築く明るい荒砥

令和の春



荒砥の美しい風景。 例年ならまだ雪の風景ですが、今年はずでに春風景。

◆ 荒砥地区地域づくり功労者 表彰

五十嶺 秀一氏 (大瀬地区)



令和元年度地域づくり研修会で、功労者として大瀬地区の五十嶺氏に中村センター長より表彰状が手渡されました。五十嶺氏は平成22年より9年間、大瀬地区分館書記として地域づくりに貢献下さいました。

*今回の講演を企画した経緯

さて、コミセンの総務企画部で研修会の内容を検討する中、若者の提案で、「最近の荒砥の元気なニュースは荒砥高校吹奏楽部の活躍！」メキメキと力をつけ私たちを元気にしてくれる「荒吹部の演奏はどうやって生まれたのか？」を知りたいと、顧問の本田礼氏に講演のオファーを出しました。

◆ 講演 本田 礼 氏「脱・どうせ」

#荒吹部4年間の軌跡とこれから

本田先生が音楽を志し荒砥高校に赴任するま

での経緯から、生徒たちへの勇気と根気ある指導をどのように実践されたかが、愉しく語られ、聴衆を引き込みました。

荒吹部はこうして再生され、高校全体の変革にさえ影響を与えているようです。これは既に奇跡。人材育成とは、永久の課題ですが、恩師との出会いも貴重なチャンスです。短い高校生活の中で、達成点を作った本田先生はじめ、荒砥高校の先生方に感謝すると同時に、育ってきた子供たちにも感動と可能性を感じます。私たちは学校と地域とが連携して、各家庭での教育力の向上を心掛け、地域で子供たちを育成して行かなければならないというヒントもいただいた気がします。



「脱・どうせ」とは・・・？

荒高へ来た理由トップ3

- ・ここしか行けないと言われたから
- ・将来進学する気がないから
- ・家から近くて楽だから

諦めとコンプレックスの狭間で
「どうせ荒高だし」

どうやってその発想をひっくり返すか…

脱・どうせへ向けた指導①技術編

- ・躓いているところまで戻る (ちょっと勇気がいる)
- ・対処法を噛み砕いて伝授する (「下手になる練習」をさせない)
- ・いつも見守る=同じ空間に居るようになる (自分の業務はそのあと)
- ・継続→定着まで粘りまくる (これが一番難しい)

結局、当たり前のことのみ。
ただ、根比べ。

脱・どうせへ向けた指導②人柄編

- ・あいさつはされる前にする
 - ・話をしている人を見る
 - ・反応・行動のスピードを上げる
 - ・やらかしたら「ごめんなさい」、人からの好意には「ありがとう」。
 - ・口に出さなきゃわからない。
 - ・いつもメモをとる習慣が大事。
 - ・人間関係はいつもドレッシング。河原の石。
 - ・うそはつかない。
 - ・継続→定着まで粘りまくる (これが一番難しい)
- やはり、当たり前のことのみ。
ただ、根比べ。

◆ 本田礼先生からの荒砥へのメッセージ
「中学生以降は自立へ向けた
“手を離せ、目を離すな”
の思いきりを地域で共有できたら…」
ぜひ各家庭で意識して取り組みましょう。



2月の元気クラブは「はじめてのヨガ」。
呼吸を整え、血流を促し、免疫力を高めて万病予防！
先生の声にあわせ、凝り固まった足指に血が巡る温かさを実感しながら、地球の一部になったような安心感につつまれて、幸せな気分元気クラブ令和元年度を納めました。



白鷹人形研究会より今年も深山和紙でひな人形を教えていただきました。材料の紙の特徴や加工などが必要なことをお聞きし、細かい作業を丁寧に教えていただき完成。関わってみると、玄関ホールにある深山和紙人形の見方が変わったとの声が聞かれました。



石井大樹君より今までを振り返って一言



3月1日（日）午後2時より荒砥地区コミセンにて、令和元年度の修了式に来賓として会員のいる区長さんにも参加いただき実施。小学6年2名は修了証、中学2年4名は記念品をもらいました。芳賀康雄会長より今までの練習発表に頑張ってきたことを褒めていただき、「今後も後輩の育成に手伝ってほしい」とのお話がありました。本来ならば、獅子舞の発表も行っているのですが、新型コロナウイルスの影響もあり短縮した形で幕を閉じました。

子獅子育成保存会 修了式

- ◆お問合せ申込は
荒砥コミセン TEL 85-0260
- どんなことがしたいか、どんな町にしたいか、優先課題は何か？一緒に考え実践しませんか？
- ① 総務企画部会 研修や交流会の企画
目指すこと↓支え合い助け合う地域づくり
 - ② 生涯学習部会 文化伝承や祭り活性化
↓学びながら高め合う地域づくり
 - ③ 軽スポーツ部会 軽スポーツ系企画実施
↓健康・元気な地域づくり
 - ④ 生活安全推進部会 防災の知識啓発等
↓安心安全な地域づくり

「コミセンでは4つの専門部会を置いて、地域づくりの事業を行っています。」
どんなことをやるの？
★地域を活性化するあらゆること

荒砥地区コミュニティセンター
専門部会委員を募集します

子獅子育成保存会 会員募集

- 募集対象：新小学1年生から小学6年生まで
- ◎詳細は、4月に会員募集チラシを小学校通じて配布させていただきます。お問合せはコミセン事務局まで

* 八乙女の舞 舞姫 募集 *

- 募集対象：荒砥小の4年～6年女子
- 練習：5月中旬～
- お問合せはコミセン事務局まで

日	月	火	水	木	金	土
3/15	16	17	18	19	20 春分の日	21
	白鷹中卒業式		交通安全のぼり旗 配布日 荒砥小学校卒業式			
3/22	23	24	25	26	27	28
				スポ振事務局会 19:00~		
3/29	30	31	4/1	2	3	4
4/5	6	7	8	9	10	11
	交通安全のぼり旗 設置完了 コミセン 運営委員会 19:00~	荒砥小学校入学式 白鷹中入学式		元気わくわく教室 13:30~ スポ振理事会 19:00~	コミセン役員会 19:00~	
4/12	13	14	15	16	17	18

お知らせ



お気軽にお申込ください

荒砥コミセンHPをチェック!

- * 荒砥コミセンで検索!
のぞいてみてね (^^♪
- ★コミセン利用申込状況が
カレンダーになっている
- ★Facebookにリンク!
コミセンの活動を
Check it out!



「雑がみ回収袋」をお分けします!

白鷹町衛生組合連合会ではこのたび、紙類の資源化をさらに推進し、可燃ごみを減量化するため「雑がみ回収袋」を作成しました。

可燃ごみで出されている紙類には、リサイクル可能なものが多く含まれている現状であり、これを資源回収に出した場合は、有価物として売却され、町の収入になります。より多くの紙類を資源回収に出していただきますようお願いいたします。

※令和2年4月1日より、各コミュニティセンターと連合会事務局に200枚ずつ配置します。希望者は窓口にてお受け取りください(原則1人1枚)。

問い合わせ TEL 85-6131

白鷹町衛生組合連合会事務局(町民課くらし環境係内)

あとうがき
新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて、教室やイベントなどが中止を余儀なくされました。
残念ですが、今は感染の沈静化を待ちましょう。
感染拡大防止策のできることを確実に、みんなが行うことが大事だと思います。
こいの

会員募集中ですので、詳細はコミセンにお問い合わせください。

おとなの家庭科くらぶ

サークル名は

クラフト教室を2回実施し大変好評をいただき、「もっと作りたい。」との熱い思いから、この度サークルが誕生しました。



2/19 クラフト教室の様子
2回目は、各自好みの色テープを選び、持ち歩くのにちょうど良い大きさのカバン制作でした。

新サークル誕生!